

RI 施設における ヒヤリハット 情報収集ノススメ

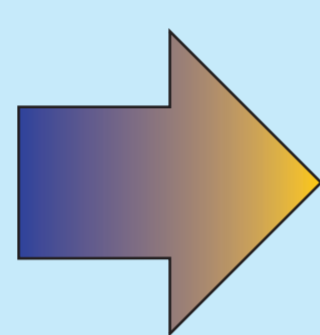
国立大学法人 大阪大学
核物理研究センター 鈴木 智和
安全衛生管理部 高橋 賢臣

放射性同位元素の規制に関する法律（放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律）の改正

自主的・継続的な安全性の向上

- ・安全文化醸成・品質保証制度がベース
- ・自らの活動を評価する組織を位置づけ、定期的な評価を行い、その結果を踏まえて取組の改善を行う（PDCA サイクルのようなもの）

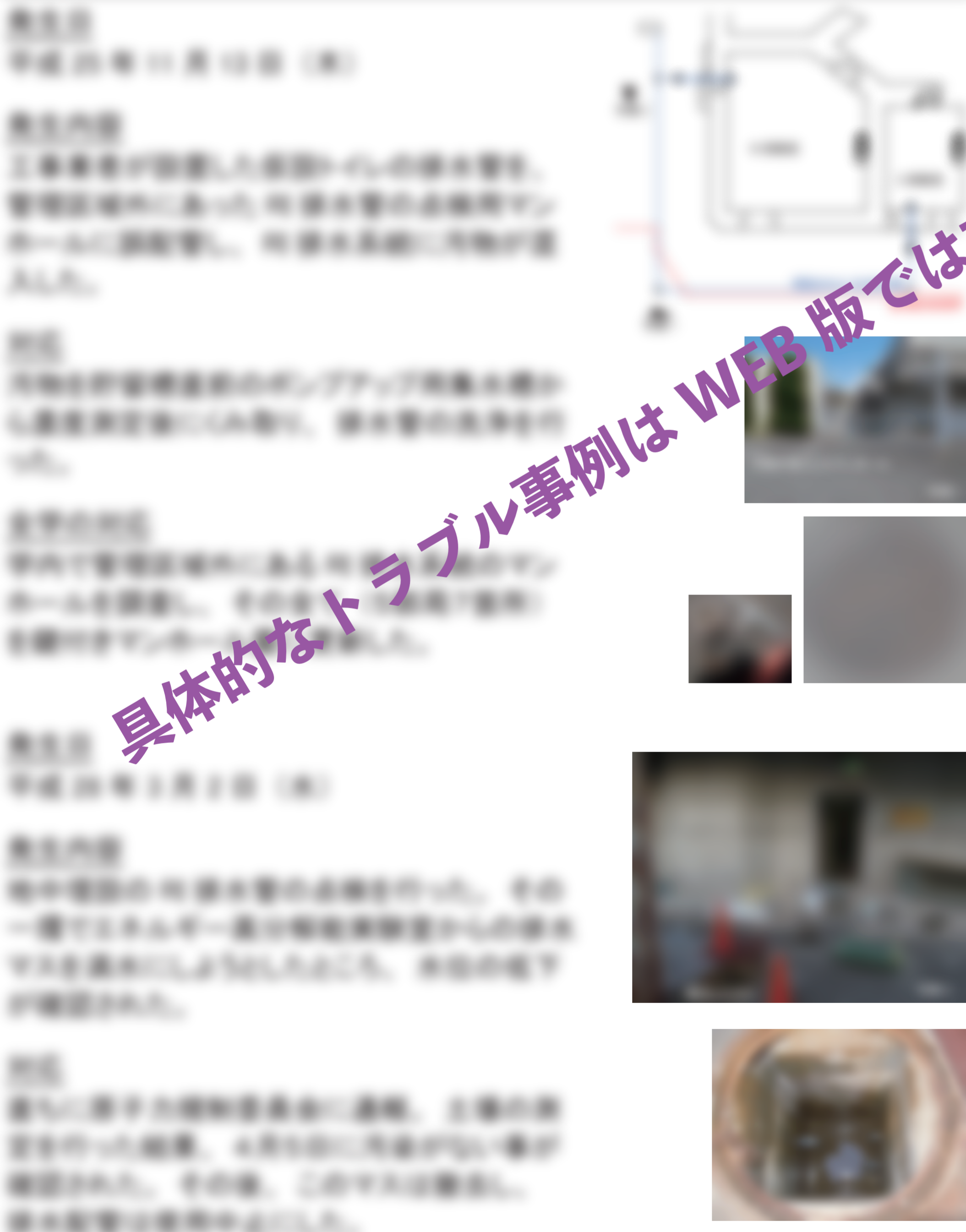
小さなトラブルの情報を共有し、トラブルを減らす努力をすることは最も効果的な安全文化醸成活動のひとつ
⇒ 情報が公開されるのは「重大事故」だけ



放射線安全管理部会は、全国の RI 施設で起きている小さな事故やトラブルの事例を収集するのに最も適した団体
→ 集まった情報を元に各施設で起きそうな事例を持ち帰ることで、効果的な教育訓練や安全文化醸成活動を実施することができる。

阪大 RCNP における小さな事故トラブルの例

具体的なトラブル事例は WEB 版では非公開とします



関連する事故トラブル例

関連する事故トラブル例 (Blurred text)

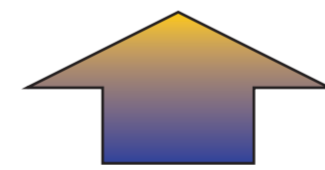
大阪大学の事故情報収集活動

事故トラブルが起きたら安全衛生管理部に報告する。
 ・事故の種類や特殊性を問わない
 ・切り傷でも報告する



事業場安全衛生委員会で報告
→ 事故情報の共有

全学で年間約 360 件の事故やトラブルが報告されている



RCNP からの報告は年間約 12 件



吹田地区事業所委員会での報告例

報告日	報告内容	報告者	報告先	報告種別	報告状況
2017.10.12	放射性物質の漏えい	鈴木 智和	安全衛生管理部	重大事故	報告済
2017.10.13	放射性汚染物の持ち出し	高橋 賢臣	安全衛生管理部	トラブル	報告済

個人情報を含むので非公開とします

- ヒヤリハットが多い事業所は危険な事業所である。 ➡ ヒヤリハット事例を収集する能力がある事業所である。
 - 1つの事業所ではヒヤリハット例が少ない。 ➡ ヒヤリハット情報の共有を行う。放射線安全管理部会は情報収集のハブになるのに最適な団体。
 - 一見 RI に関連しないと考えられるような例が関係するかもしれない。 ➡ 情報共有の範囲は少し広めに。
- 部会としての安全文化醸成活動になるはず！

平成 29 年 5 月 23 日第 9 回原子力規制委員会臨時会議（原子力規制委員会と公益社団法人日本アイトープ協会との意見交換会）における伴信彦委員のご発言より

法令上の違反に当たらないような、その小さなトラブルとかですね、そういったものの情報をこう集約して届けていただくようなことができるかどうか。たとえばその、原子力の方に関してはですね、ニューシアというまあそういうようなシステムがございますので、もしアイトープ協会の方でですね、そういうものをこう積極的に集めて、まあ小さなトラブルであったり、逆に良好事例であったり、そういったものをこう何かこちらに届けていただくことはできますでしょうか？